

# かじや知宏 議員報告



〈生年月日〉昭和43年9月12日 〈年齢〉45歳 〈出身地〉大阪府枚方市 〈趣味〉読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り 〈血液型〉O型  
〈経歴〉阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

〈市役所〉〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

〈自宅〉〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ  
<http://www.t-kajiya.com>

## プロ野球観戦やホテルでの食事に対し税金から支援 ～勤労市民会への補助金見直しを～



「NPO法人枚方市勤労市民会」は、中小企業などで働く勤労者に対し、共済給付事業や福利厚生事業などを実施し、福祉の向上を図ることを目的に設立された団体です。勤労市民会には、枚方市から年間1109万7000円の補助金が交付されており、公共施設内にある団体事務所についても、使用料の半額が減免されるなど優遇を受けています。しかし、中小企業等の福利厚生事業は他の民間団体でも実施されており、なぜ勤労市民会にだけ、市が税金で支援する必要があるのか疑問です。

また、勤労市民会の事業の多くがプロ野球観戦や高級ホテルでの食事会などのレクリエーション事業です。事業の実施に掛かった経費に比べ、会員の実費負担(参加費)は少なく<下欄表参照>、管理・運営に必要な間接経費まで考慮すると、会員からの月額会費収入だけで事業経費が賄えている訳ではありません。当期収入の約42%が市からの補助金ですから、これらの事業に対する経費は、間接的に税金から補てんされているとも言えます。勤労者支援のためといっても、プロ野球観戦や食事会、カニツアー、ビアパーティなどのレクリエーションに対して税金で支援を行うことが、施策の「選択と集中」で優先順位が高いとは思えません。厳しい財政状況の中、市民の生命・財産を守るための施策、例えば待機児童対策や防災対策、インフラ整備など、の課題が山積しており、プロ野球観戦にまで税金を支出する余裕はないはずです。この問題については、市民の理解が得られるよう、10月の決算特別委員会において、補助金の廃止も含めた見直しを提言しました。

### 枚方市勤労市民会の主な事業

事業名	スポーツ観戦補助	仲間作り講習会	生涯スポーツ支援
内容	甲子園球場、京セラドームでのプロ野球観戦	リーガロイヤルホテル京都・たん熊での会食等	ボウリング教室、スキー教室等
参加費収入	95万6000円	136万8000円	108万7150円
事業支出	222万7234円	418万4742円	292万3743円

## 時代に合わなくなった政治・行政の仕組みを改革するため

「税金の流れの透明化」「ムダの排除」「既得権の見直し」に全力で取り組みます

私の議員活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

詳しくは **かじや知宏** で **検索**

**Twitter** [twitter.com/kajiya\\_tomohiro](https://twitter.com/kajiya_tomohiro)

**Facebook** [www.facebook.com/tomohiro.kajiya](https://www.facebook.com/tomohiro.kajiya)

「ツイッター」「フェイスブック」でもページを開いています。

携帯電話からブログをご覧になれます→

